

第6回多摩市産業振興推進会議 議事録

日 時 令和7年2月4日（火） 午後6時00分～午後7時45分

会 場 多摩市役所 東庁舎会議室

議 題 （1）多摩市産業振興マスタープラン原案について

・前回からの変更箇所について

・パブリックコメントについて

・多摩市産業振興マスタープラン原案について

（2）令和7年度からの事業実施について

報 告 （1）第5回多摩市産業振興推進会議議事録について

（2）今後の予定について

出席委員 会 長：松本 祐一

副会長：石原 義仁

委 員：野村 和伸

委 員：木村 康二

委 員：沖田 敏浩

委 員：田口 真弘

委 員：神田 篤

委 員：佐伯 瑞絵

委 員：横溝 惇

委 員：荒木 喜美子

委 員：佐藤 稔（都市整備部長）

委 員：磯貝 浩二（市民経済部長）

欠席委員 竹内 利明（委員）

岩井 隆之（委員）

事 務 局 麻生経済観光課長、商工観光担当：緒方、沢出

支援事業者 一般財団法人日本開発構想研究所：藤森

配布資料 資料1 委員名簿

資料2 第5回多摩市産業振興推進会議議事録

資料3 変更箇所一覧

資料4 パブリックコメント実施結果について

資料5 多摩市産業振興マスタープラン原案

資料6 多摩市産業振興マスタープラン原案（概要版）

(午後6時00分 開会)

事務局 会議の開会を宣言し、配布資料をタブレットにて確認。

会長 委員14人中12人の出席があり、多摩市推進会議設置要綱第6条3項に基づき会議開催が成立することを報告する。

議事録署名委員は磯貝委員と沖田委員にお願いする。

会長 協議事項が2件、報告事項が2件あり、報告事項について事務局から説明をお願いする。

事務局 報告(1)「第5回多摩市産業振興推進会議議事録について」、資料2「第5回多摩市産業振興推進会議議事録」より説明、報告(2)「今後の予定について」説明を行う。

会長 議題(1)「多摩市産業振興マスタープラン原案について」、事務局から説明を求める。

事務局 議題(1)「多摩市産業振興マスタープラン原案について」、資料3「変更箇所一覧」、資料4「パブリックコメント実施結果について」により説明。

会長 質問等あればお願いしたい。

委員 パブリックコメント意見一覧のN03「通勤時間が増える本人はもちろん、会社としても通勤費が増えるのは痛い」とあるが、意味が分からない。

事務局 通勤時間のかからないところに企業がいったほうがいい、企業を誘致すべきだという意味にとらえている。

会長 気になるコメントや活かすべきものがあればご指摘いただきたい。

委員 パブリックコメント意見一覧のN03、引っ越し補助を「在勤の独身者も対象に加えても良い」とあり、強い意見だと思う。わが社でも多摩市内に住む独身者はほとんどいない。独身者が多摩市に住みたいといった動機がない。新宿との間の調布、府中、明大前、新百合ヶ丘に住む若者が多く、まちの魅力を上げていく必要があり、面白い意見だと思った。

委員 多摩市は子育て世帯への支援が多い。最近1年間の人口移動は、200人減少した。内訳は転出転入の社会増減では700人増加し、聖蹟エリアが増加している。一方で自然増減では1,000人減少した。コロナ前の出生数は1,000人を超えていたが、コロナ以降減少してきた。高齢化で亡くなる人も増えている。自然減は今後も続く見込みで、多摩市で産んでほしい、または子供に来てほしいといった思いから、子育て世代の支援に力を入れている。

会長 各市が子育て世代に来てほしいため、競争になっている。今後、結婚する人も減り、お一人様が増える中で、これらを踏まえて子育て世代だけでなく、独身者が一人でも暮らしていけるようにする必要がある。

委員 昨年の調査で20歳代半ばから後半の転出が多かった。大学を出て就職で減っていたかと思っていたので、認識が違っていた。どういう理由で転出したか根本の要因を把握する必要がある。

会長 産業振興は、産業だけでなく全体の人口構造なども含めて考えていく必要がある。詳細な修正も含めて事務局で詰めている印象だが、本日審議において決定し、その後は

修正できる可能性はあるのか。

事務局 2 月末か 3 月頭に市の経営会議で最終決定を図るので、その間に軽微な修正であれば対応できる。

会長 この会議での意思決定がほぼ確定なので、ある程度固めていきたい。

委員 引っ越し補助は外国人の家族にも適用されるのか。

委員 親がもともと市内にいて、親世代との近居であれば対象になる。

委員 引っ越し補助は市内の親世代のいるところに引っ越す場合に出る。何もない状態では出ない。

会長 そのほか意見はないようなので、議題（1）産業振興マスタープラン原案について、決定に賛成の方は挙手をお願いしたい。

（全員賛成）

会長 本件は決定した。

議題(2)「令和7年度からの事業実施について」、事務局から説明を求める。

事務局 議題(2)「令和7年度からの事業実施について」説明。

会長 計画を作って終わりではなく、どこまで何をするのかが重要になる。かなり数があるので、優先的に実施するものなどを検討していきたい。

委員 この会議で評価していくことになるかと思うが、例えば、廃業率の減少など数値目標を設定していくのか。例えば廃業率が10%減少したら「A」など、評価軸がわからないまま評価が進んでしまう恐れがある。また、前回会議で人材確保などが話題になっていたが、主な取り組みの施策1から35のうち、人材確保はどこに対応するのか。

事務局 評価の仕方として推進会議で中間評価と最終評価を行う。それぞれ3つの方向性について成果指標に基づき評価を行う。評価にあたってはそれぞれの事業の所管としての考え方（自己評価）があると思うので、それを受けて推進会議にて毎年度評価してほしい。人材確保は施策25「中小企業における連携した求職・就労環境の整備」、30「就労支援事業の実施④」で対応している。具体的に内容がかかれていないものは施策30で対応する予定。

委員 個々の所管課に目標の設定は任せるということで良いか。

事務局 その通り。評価のところで、本日は具体的な評価の仕方は示していないが、次回に改めて説明する。評価の仕方として合意に至ったところからスタートしたいと考えている。

会長 いろんな計画の評価をしてきたが、評価してみると上がってきた数字だけで評価できるのか疑問なところがある。単に数字の評価だけで見ってしまうと果たしてそれがよいかはわからない。数字の変化を見ながら、そもそも目標の設定が違うのではないかとすることはよくある。例えば、待機児童が減少すると、そういうまちは逆に増えてきて、目標に待機児童ゼロを掲げると本質的な子育て支援にならない。産業分野でもあるかと思うので、KPIについてもこの会議で議論していき、固定化せず評価をしやすいように考えていきたい。

- 委員 施策 25「中小企業における中核人材の育成促進」のデジタル人材の育成について、今後 A I も発展するし、A I や外国人人材も含めて多様な人材としたほうが良いのではないか。多摩市は人材を呼び込む力があると思う。緑があり、生き生きと活力を持ちながら働ける環境にある。最近コンビニに行けば外国人も多く、ホテルのフロントも外国人がいる。優秀なアジア圏の外国人やアメリカから溢れている人材を市で受け止めることを考えてはどうか。子育て支援でどこの市も同じことをしているのであれば、何か特徴を持たすべきではないか。
- 会長 大学でも外国人留学生が増えている。少子化で日本人が減っているので経営のために留学生を受け入れている。中国人など、優秀な学生も多い。課題として日本で就職したくても言語問題や生活習慣も含めて不安があり、大学だけでは対応しきれない。市内の事業者とのネットワークで、出口のところで何か支援ができればよい。外国人は今後も増えていき、身近な存在になっていく。他の市と比べても先行的な事例ができればよい。
- 委員 市内の外国人は年々増加しており、現在は 3,000 人程度になっている。最近 5 ～ 6 年で急激に増えており、特に介護職が多い。市としては暮らしていくのに必要な情報提供を行っており、タブレットを使って同時通訳を 10 数言語について行っている。市からの案内も日本語だけでなく外国語でも同封している。また市が直接ではないが、労働相談も行うなど、日本人と同じように情報の平等化に取り組んでいる。
- 会長 企業の外国人材はどうか。
- 委員 ホテルを運営しているグループ内では増加している。本社はそれほどいない。
- 委員 増えている。中国、ベトナムが多い。新卒でも採用している。
- 会長 市民の生活の場ではどうか。
- 委員 外国人向けのシェアハウスもあり、いろんな人がいる。店に来る人はそれほどでもないが、人通りは確実に変わっている。
- 会長 多摩市の創業支援で創業した中東系の外国人の方は、起業して東京都の賞を取った。そういった人がいるのも多摩市の宝であり、外国人も活躍できるようなブランディングができるのではないか。
- 委員 アメリカで仕事をしていたが、多摩市は外国人にとって住みやすいところだと思う。緑があり、都心への距離など強みとして生かした方がよい。団地を活用したシェアハウスなどの受け入れ体制など、共存していく必要がある。外国人が経営する飲食店もあつたらよい。外国人材に特化した支援があってもよい。例えば留学生に長く住んでもらうような支援も必要ではないか。外国籍で住むのであれば支援する。子育ては団地であれば狭いが、単身者が住む住居は多くある。UR 団地など空き家を埋めるような施策は企業にもメリットはあるのではないか。
- 会長 この会議でも人材確保は関心があり、力を入れていきたい。外国人材は一つの大きな柱になると思う。
- 委員 数字として目標を設定しそこを目指すことが良いのか疑問だ。例えば、この場所にこれが必要かという議論があるべきで、空き店舗が埋めればよいということではない。ここに何があるべきかだけではなく、意外性があってもよい。ニーズに対して入れる

だけではよくない。10～20 年先を見たときに現時点だけでない評価軸を設定できればよい。例えば、タイ料理の店があればいいと思うが、実現しないのは家賃が高くて出店できないなど、不動産分野も含めて評価していく必要がある。多摩に住みたい、働きたいといっても聖蹟とニュータウンとは違う。外国人がどちらに住みたいか。評価軸として不動産の視点、都市的視点が抜けている気がする。

会 長 ある結果に対して影響を与えているものは多くある。因果関係を特定することは難しい。例えば、人口が増える理由はいくつかある。因果関係を解きながら、目指す未来に対して何を評価するべきかはとても難しく、数値だけでは無理だと思う。評価する陣容が大事で、一つは事例が大事だと思う。例えば、タイ料理屋がニュータウン内にできたという事実はいろんな要因があると思う。創業支援だけでなく、不動産的要素もあり、うまくいった要因を解いていけばなんとなく見えてくる。定性的な部分も大事で、みんなが見ているまちの様子を持ち寄って評価をしたい。行政的には KPI の評価は必要だが、この会議では KPI だけで評価をしないことが重要になる。

委 員 KPI の項目に競争性、イノベーションなどフリーの項目を入れ、点数化しない項目も必要ではないか。どういう項目でも良く、融通がある評価項目を設定し、委員なり第三者の判断ができるようなことも考えられる。

委 員 市でも予算に対して事業評価を行っている。事業カルテを作って自己評価をしているが、必ずしも全てを表していないので難しい部分はあるので、良い評価手法があれば取り入れていきたい。また今回の計画でも商店街支援はあるが、概要の中にはいろいろな内容を入れ込んでいるが、ニーズがかなり違ってきている。住人の年齢構成が変化してきたこともあり、住んでいる人が欲しいものと市外の人が魅力的に思うものは違う。商店街の物件も分譲と賃貸がある。個人の分譲は難しいが、賃貸物件は公がやっていたら創業や出店の相談に乗れるところはある。また、市としてあったらよいと思うものが出店すると限らず、そこがジレンマになっている。商店街に意向があればそこを支援していきたいが、商店街が解散しているエリアもある。

会 長 計画の取り組みに対して、方向が違ってきたときに変更や廃止ができなければそれに縛られ、計画期間の間は何もできないことになる。我々は計画を作った責任ある立場だが違ったものは変えていく。前提に疑問を持ちながら評価を行っていきたい。

委 員 施策 20「チャレンジスペース等の利用支援」のように具体的な記載と抽象的な記載が混在している。具体的なところはもう少しプロジェクトなど取り組みの中でも強調されてもよいのではないか。

会 長 施策で「新規」の部分はどうやって具体化していくのか。どのように予算を確保していくのか。創業支援では施策 18「ビジネスコンテスト等の実施」と施策 20「チャレンジスペース等の利用支援」を組み合わせるなど、創業塾も関連させると3つくらい実現できる。3つの方向性で一つずつくらいは実現したい。実施したいことがあれば意見が欲しい。

委 員 チャレンジスペースはシェアキッチンや店舗、またはマルシェなどイベントスペースといった含みを持たせておいたほうが良い。優秀な主婦を発掘する場になっていくとよい。

- 委員 市がやると僻地など、はやっていない場所になる場合があるが、駅前など立地の良い場所で考えてもよい。パルテノン多摩やパルテノン大通りなどいろんなスペースが活用でき、商業施設だけでなくプログラムや使い方の検討が必要ではないか。
- 委員 パルテノンは工夫をすれば面白いものが出来そうだ。
- 委員 大通りの空間は市が社会実験して、将来の活用に向けた道筋をつけているところだ。道路上に店舗が出せたり、イベントができるようになれば良い。商業施設でも空いているスペースはいくつかあり、そういったところを活用し、チャレンジショップなど出店できるような仕組みや制度ができればまちの賑わいにつながっていく。
- 委員 施策 18 と施策 20 はセットで考えていくのは良いと思う。大賞を取ったグループにはスペースを使えるような仕組みがあってもよい。市がどこまでできるかはあるが、わくわく、楽しいまちにしていくことに異論はないと思う。都市計画や消防としての制限は多く、特にニュータウン内の制限は多い。他の地区ではできているものがなぜできないのかと言った指摘はあり、ニュータウンができて 40 年、50 年と経過している中で、世の中が求めているものが変わってきている。市としても何ができるか検討しているところで、合意形成に時間がかかるが試行的に取り組みを始めたい。
- 委員 チャレンジスペースはオフィス系ではすでに市でも支援を始めている。民間が持つコワーキングスペースと協定を結び、使用料補助を行ったり、資金の貸し付けなど支援を行っている。オフィス系はある程度支援できているが、飲食、小売りまで支援が及んでいない。ニュータウン内で魅力的な個人店が少ないといった意見が多いが、計画的に作られた区画のため、規模が大きく、個人での出店は難しい。市だけでなく、地権者である民間にも協力してもらい、少しでも「多摩市発」の取り組みができればよい。シェアキッチンでは狛江市で民間と市で協定を結んでいるなど事例がある。また、デジタル人材のところでは、中小企業で自前でホームページの作成が難しいといった声がある。作成費用やメンテナンス費用も掛かるため、販売チャンネルを増やすためにも支援していければ良い。
- 委員 近隣の町田、稲城、八王子などでは街を紹介するスポットがある。例えば、町田「ぼっぼ」では、姉妹系都市の土産の販売、店舗や宿泊施設の紹介をしている。稲城ではガンダムの紹介など観光情報を発信している。また、市役所までいかなくても主要な駅で情報が取れるような施設があるとよい。そこで小規模な店舗の紹介や市全体の紹介などがあれば盛り上がるのではないかな。またアニメの舞台が多く、ジブリ以外もある。そういった情報を公開し、「聖地巡礼」として来てくれる人を取り込むような取り組みも考えられる。
- 会長 今回の計画策定に当たり、パブリックコメントに加え、オープンハウスを行ったが結構集まったという印象だ。スペースに提示すると意外と見てくれている。
- 委員 今回の計画に基づくコアプロジェクトのようなものが一つでも出来たらよい。既存事業の組み合わせでも良い。いろんな分野のこのメンバーだったら実現できそうだ。
- 委員 多摩市には立ち止まる場所がない。素通りされている。京王プラザホテルがなくなったのは大きい。サンリオがあるのに夜遅く帰らなくてはいけない。休憩、宿泊するところがあればよいという声は結構ある。そういう場所がないのが欠点。遊びだけでな

く、休憩、宿泊できる場所が必要ではないか。宿泊すれば次の日も遊んでいこうとする気になる。

委員 宿泊施設については、市民だけでなく企業など、いろんなところから意見が出されている。企業立地促進条例があり、これまでは雇用の創出などを目的としたものだが、3月議会では宿泊施設に特化した条例の改正を提案しようと考えている。これまでの条例は従業員数など厳しい条件だったが、宿泊施設に特化して何とか誘致していきたい。ホテル事業者からヒアリングを行い、条件に合わせた改正を行っていく。滞在時間が延びることによって需要が生まれる。

委員 企業の集まりなので、キラーコンテンツ、鋭いものが要求される。市だけではなく、企業も協力していければ良い。ビジネスコンテストも企業の施設を活用して行うなど、共存共栄でできれば良い。みんながポジティブになるような動き、これまでになかったものを多摩市で実現していきたい。今回の部会の発表の後、学生と懇談会などがあってもよかった。学生もアイデアに対してどういった審議をされているか気になっていると思う。

会長 部会参加者へも説明責任がある。やれることがあれば一緒に行動していきたい。本日はここまでにしたい。今年度はお疲れさまでした。次年度もよろしくお願いいたします。

事務局 委員の任期は今年度いっぱいになる。来年度以降は計画の進行管理、評価ということになる。委員の皆さんは基本的に留任でお願いしたい。

(午後7時45分 開会)

会議録：一財)日本開発構想研究所作成、経済観光課商工観光担当編集